

謹賀新年



茨城町議会議長
小貫 和通

平成二十七年議長新年挨拶

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年、茨城町の誕生から二月十一日で60年となる節目の年でもあり、更なる飛躍の年となることを念願するものです。さて、国においては、少子高齢化の進展と人口減少に歯止めをかけるための理念を定めた「まち・ひと・しごと創生法」と地域活性化に取り組む地域を支援するための「地域再生法の一部を改正する法律」が昨年十一月二十一日に可決・成立し、国からの支援策の期待も高まる一方、地方の特性を生かした「新たなまちづくり」が求められるところでもあります。

このような中、当町で唯一の観光地であり、自然豊かで多くの渡り鳥が飛来することでも知られます「酒沼」の「ラムサール条約湿地」への年内登録に向け、執行部と議会が一致協力して推進しているところでもあります。登録を機に、町の住みやすい自然環境や農産品・特産品等も様々な形でPRできるものと確信しております。

また、町の主たる産業でもあります農業は、後継者不足や担い手の高齢化に伴い、



茨城町長
小林 宣夫

平成二十七年町長新年挨拶

新年おめでとうございます。町民の皆様さまにおかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より町行政の推進につきまして、深いご理解とご協力をいただいておりますこと心から厚くお礼申し上げます。平成27年の新春を迎え、本年も引き続き町民の皆さまとともによりよいまちづくり、誠心誠意努力する決意を新たにしたいところであります。

さて、茨城町は本年二月十一日に町制施行60周年を迎えます。合併から今日まで諸先輩をはじめ、多くの皆さまのたゆまぬ努力の成果として、現在の茨城町が建設されたわけであり、この町に住み、この町を愛してくださいました皆さまに敬意と感謝を申し上げますとともに、今後とも茨城町発展のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

昨今、地方をとりまく情勢は、急激に進む少子高齢化の進展、さらに人口減少や格差の拡大など様々な課題が山積し、前途はかつてなく多難であります。こうした状況の中、国では「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、地方創生関連2法案を成立させ、少子高齢化と人口減少、人口の二極集中に対応することとしております。

茨城町としては、これらの動きに柔軟に対応しつつ、空き家対策や結婚支援、少子化対策など独自の施策を進めてまいります。

また、茨城町の自然環境のシンボルでもある酒沼のラムサール条約湿地登録につきまして、昨年8月に知事を会長とする「酒沼ラムサール条約登録推進協議会」を設立し、11月には鳥獣保護区指定を県から国に格上げするなど、登録実現に向けた取り組みを進めているところであります。今後も関係機関、団体と協力し、茨城町が誇る、貴重な自然資源「酒沼」がラムサール条約に登録されるよう、積極的に活動してまいります。

今年も引き続き町民の皆さまが誇りと愛着を持ち、安全・安心に暮らすことができる郷土づくりに職員共々一丸となつて努力してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして素晴らしい一年になりますことを心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

い荒廃農地も増え、深刻な状況となっております。現在、町では農業者支援や農業の活性化を図るため茨城町農業公社の設立に向けた準備が進められており、農業振興の核となることを期待するものです。

今後、私たち議会議員は、町民の思いを率直かつ謙虚に受け止め、議会の果たすべき役割と責任をもって、「茨城町のさらなる発展と住民福祉の向上」を目指し、全力を傾注する所存であります。結びに、今後とも町議会に対しまして、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。この一年が皆様方にとって輝かしいものでありますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

